



ちば



アグリ情報

Agri Information CHIBA



同校に贈った農畜産物

- 県産いちご「とちおとめ」20パック
- 地元野田市産米「コシヒカリ」150kg
- 県の銘柄豚「房総ポーク」のウインナー300本
- J A全農ちばオリジナル飲料「フルーツ&キャロット」300本

高校野球代表校の中央学院高校へ県産農畜産物を贈呈（2月26日）

同 校：横田校長、森教頭、相馬監督、福嶋部長
 J Aちば東葛：高橋組合長、高橋常務
 J A全農ちば：林会長、荒井県本部長（詳細はP.14）

私たち全農グループは、**生産者と消費者を**
安心で結ぶ懸け橋 になります。



CONTENTS

食と農を未来へつなぐ JA全農ちばの取組状況

- 段ボール資材のコスト低減に向けた取り組み

営農情報

- 園芸野菜 病害虫防除情報
- 果樹(ナシ) 病害虫防除情報

園芸情報

- 販売経過および情勢

米穀情報

- 米穀情勢

肥料情報

- 混合堆肥複合肥料

トピックス

- 3 J A (安房・木更津市・きみつ) による千葉県フェアを県内の大型量販店で開催
- 2月8日は「べにはるかの日」! 各種フェアを開催
- 南総スプリングフェア開催!
- 「サツマイモ専門指導員フォロー研修会」を開催
- 甲子園出場の中央学院高校に県産農畜産物でエール

ハラペコさんに贈るいちばんレシピ

- 白菜とひき肉のあんかけ

食と農を
未来へつなぐJA全農ちばの取組状況
園芸資材事業

段ボール資材のコスト 低減に向けた取り組み

1. 取組目標と内容

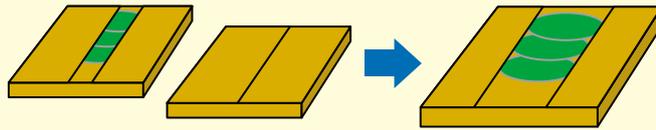
低コスト原紙^{*}の導入や適正な材質および形状の検討により、段ボール資材コストの低減をはかるため、段ボール箱の使用状況と規格点検を実施し、見直しをすすめています。

☆規格点検と見直しのポイント

段ボール価格は、主に原紙の使用量と材質で決まります。主な点検ポイントとなるのは、以下の2点です。

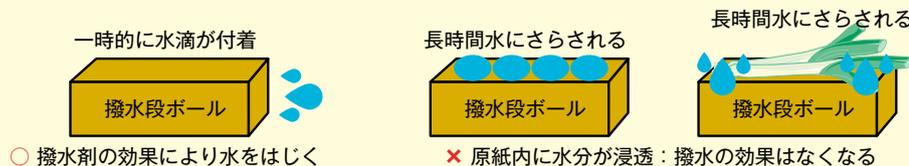
(1) フラップ（段ボールの天蓋の部分）の長さを短くできないか

⇒フラップの長さをもっと短くカットしても輸送上問題がなく、段ボール原紙の使用量を減らせるのでは？



(2) 本当に撥水原紙が必要なのか

⇒撥水加工は、一時的には有効であるが長時間の湿潤下では効果がないため、不要になりがちなのでは？



ショートフラップ化について

<https://youtu.be/Uxt0HC6g1Bo>



無撥水化について

<https://youtu.be/MJveqlp7buo>

2. 自己改革の進捗状況

令和5年度（2月末）での低コスト原紙の使用率は70%（前年度同期68%）となりました。千葉カラー原紙について、従来の強度を保った低コスト原紙を開発し、令和5年度5月以降、順次切り替え（GK220⇒GK210）を行っています。

今後も、実際の使用場面を想定しながらJAと実用性を検証し、適正化に向けた見直し・切り替えをすすめます。

●低コスト原紙とは…

JA全農と段ボール製紙メーカーで共同開発・実用化した、青果物用のJA全農オリジナル低コスト原紙です。（GK210、AK210・170、AS160・120）

1. はじめに

春夏野菜の準備時期となりました。気象庁発表（2月29日）の1か月予報によると、3月は気温が高く、降水量が少なく、晴れの日が多くなると予想されています。暖かくなり、病害虫が急激に増加する恐れがあるので、注意して防除を行いましょ。また、近年異常気象と言われているとおり、日々の気温差に加え、一日の中でも気温差が大きくなります。寒暖差にも注意して換気や灌水を行いましょ。

2. 各作物苗床 — 苗立枯病

苗立枯病は、主にピシウム菌やリゾクトニア菌が原因で育苗初期に発生し、茎の地際部分が腐敗してやがて倒伏します。高温多湿条件で発生しやすいため、過度な灌水や密植は避け、換気を行いましょ。



- **ピシウム菌被害の特徴** : 地際付近が褐色に変色し、軟らかく軟腐状になる。
- **リゾクトニア菌被害の特徴** : 地際付近が褐色に変色し、くびれて細くなる。

● 苗立枯病 防除薬剤例（使用時は各作物の登録内容をご確認ください）

対象病害	FRACコード	薬剤名	使用方法
苗立枯病	M4	オーソサイド水和剤80	
苗立枯病（リゾクトニア菌）	M5	ダコニール1000	散布または灌注処理
	14	リゾレックス水和剤	

3. すいか — うどんこ病

うどんこ病は苗床から持ち込んでしまうこともあります。発生は中段以下の葉から始まるため、発生初期を見逃さないように注意しましょ。苗の段階で明らかに被害が見られる場合には定植を避けるか、定植後に治療効果のある殺菌剤散布を行いましょ。定植後はベルコートフロアブルでの予防を基幹とし、着果後の急速な蔓延に備えて早めの対策を心がけましょ。



● すいか うどんこ病 防除薬剤

対象病害	FRACコード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
うどんこ病	M7	ベルコートフロアブル	1000	収穫前日	4回以内	予防
	3	トリフミン水和剤※	3000～5000	収穫前日	5回以内	予防・治療
	3+U6	パンチョ TF顆粒水和剤※	2000	収穫前日	2回以内	予防・治療

※トリフミンとパンチョは同成分を含むため成分総使用回数に注意

果樹（ナシ）病害虫防除情報

1. はじめに

今年の桜の開花時期は平年よりも早くなると予想されています。【桜開花予想（2月26日現在）：東京3月20日（平年－4日）・銚子3月27日（平年－3日）】同様に、ナシの開花時期についても平年より早まる可能性があります。花芽の様子や気象状況をよく確認し、作業を前倒しにするなどの計画を立て、病害虫の被害を抑えられるように努めましょう。

2. ナシマルカイガラムシ・その他カイガラムシ類

主に枝に寄生し、吸汁加害します。発生密度が高いと果実表面にも寄生するため、商品価値を低下させます。発生密度を抑えるためには、春先のマシン油乳剤散布が重要です。これは、カイガラムシ類のほかにも、ハダニ類やニセナシサビダニの防除も兼ねます。しかし、薬剤が虫体に付着しないと効果が期待できないため、発生している樹には散布ムラのないよう、丁寧に散布しましょう。（特に枝上面や分岐点部分）



【薬剤防除】

● 3月上旬ごろ

ハーベストオイル (マシン油乳剤)	50～200倍	(発芽前) +
アプロード水和剤	1,000倍	(収穫30日前まで・2回以内)

※ハーベストオイルは発芽前に散布する。

※アプロードはナシマルカイガラムシ多発園で加用（同時散布）する。

※アプロードはフロアブルでも可。

3. 黒星病・アブラムシ類

各防除適期（りん片脱落期から交配終了後まで）を逃さないようにしましょう！

(1) 耕種的防除（黒星病）

芽基部に発病が見られた場合は基部から切除しましょう。また、黒星病が発生した落葉は、そこから胞子が飛散し、伝染源となります。園内に残っている落葉は、土中に埋めるか園外に持ち出して処分しましょう。



(2) 薬剤防除

①りん片脱落期（3月下旬ごろ～）

- ・トレノックスフロアブル 500倍（収穫30日前まで・5回以内）
または
- ・デランフロアブル 1,000倍（収穫60日前まで・4回以内）

早い品種の花芽が
画像の程度に
開いてきたら防除



～



②りん片脱落終了後～開花直前（4月上旬ごろ）

- マネージDF 6,000倍（収穫21日前まで・3回以内）
+
- トレノックスフロアブル 500倍（収穫30日前まで・5回以内）
+
- ウララDF 2,000倍（収穫14日前まで・2回以内）

※混植園の散布目安は開花の早い品種（豊水など）のりん片脱落終了後～開花直前

③開花中【臨機防除】（長雨や強雨の影響で追加防除が必要な場合）

- トレノックスフロアブル 500倍（収穫30日前まで・5回以内）

※散布当日は受粉作業を行わないこと

④交配終了後（4月中下旬ごろ）

- スコア顆粒水和剤 4,000倍（収穫14日前まで・3回以内）
+
- トレノックスフロアブル 500倍（収穫30日前まで・5回以内）
+
- バリアード顆粒水和剤 4,000倍（収穫前日まで・3回以内）

(3) アブラムシ類被害について

アブラムシは3月下旬ごろから飛来し始め、展葉期ごろから、右写真のように葉が縮れて内側に巻くような被害が現れます。発生すると急激に増殖するため、抜け目ない防除を実施しましょう。



4. その他

今年度から、千葉県農林水産部から「ナシ開花予測システム（ウェブ運用試験版）」が導入されました。開花予測の参考にし、適宜防除を実施しましょう。

HP：ナシ開花予測システム（ウェブ運用試験版）／千葉県 (chiba.lg.jp)

<https://www.pref.chiba.lg.jp/ninaite/system/nashikaikayosoku.html>



園芸情報

販売経過および情勢

青果物 2月の販売経過

2月の天候は、気温は冬型の気圧配置が長続きせず、また、南から暖かい空気が流れ込んだ時期もあったため、東・西日本でかなり高くなり、特に東日本では1946年の統計開始以降で東日本で1位の記録に並ぶ高温となりました。

降水量は、低気圧や前線の影響を受けやすかった西日本でかなり多く、東日本の太平洋側でも多くなりました。

日照時間は、東日本の太平洋側と西日本ではかなり少なくなりました。

2月の東京都中央卸売市場の野菜の入荷量は10万7,559 t（前年比103%）となりました。

主要品目別では、西日本・沖縄の主産地で生育・作柄が概ね良好だったことから、**かぼちゃ**（前年比174%）・**ブロッコリー**（前年比132%）などは増加しました。一方、降雨等の天候不順・前進出荷の反動により、**ねぎ**（前年比92%）・**にんじん**（前年比92%）などが減少しました。

価格は265円/kgで前年比100%となりました。

数量が多かった、**かぼちゃ**236円（前年比49%）・**レタス類**201円（前年比77%）・**ほうれんそう**427円（前年比85%）、**キャベツ類**82円（前年比86%）は前年を下回ったものの、数量の少なかった、**たまねぎ**186円（前年比136%）・**ねぎ**340円（前年比134%）・**さといも**396円（前年比123%）などは、前年を上回りました。

2月の果実の入荷量は2万9,729 t（前年比97%）となりました。このうち、国産果実は、2万7,605 t（前年比98%）、輸入果実の入荷量は、全体で2,124 t（前年比86%）と前年同月に比べて減少しました。

国産の主要品目別では、**ポンカン**・**あまなつかん**等は前進出荷で増加となりましたが、**いよかん**・**ちおとめ**・**王林**・**ふじ**等は出荷の端境期をむかえたことから減少しました。

国産の価格は630円/kg（前年比111%）、輸入の価格は287円/kg（前年比106%）となりました。国産は数量の少なかった、**ふじ**・**アールスメロン**・**王林**・**キウイ**等、輸入は**レモン**・**オレンジ**・**キウイ**等が前年を上回りました。

※数値は何れも東京都中央卸売市場統計データによる

東京都中央卸売市場の野菜・果実入荷量および単価（2月）

	数 量		単 価	
	(t)	前年比 (%)	(円/kg)	前年比 (%)
野 菜	107,559	103	265	100
果 実	29,729	97	606	112

JA全農ちばの販売状況（2月）

	数 量		単 価		取 扱 額	
	(t)	前年比 (%)	(円/kg)	前年比 (%)	(百万円)	前年比 (%)
野 菜 計	28,900	100	163	100	4,704	99
果 実 計	224	101	1,376	103	308	105
だいこん	6,168	92	88	95	543	87
にんじん	5,904	91	121	105	712	96
キャベツ	6,877	116	76	91	525	106
ほうれん草	149	95	51	85	345	89
ね ぎ	1,910	94	316	131	604	123
春 菊	114	119	581	84	66	100
レ タ ス	524	96	229	76	120	73
パ セ リ	28	113	703	73	20	82
な ば な	148	114	797	82	118	94
きゅうり	1,401	94	423	110	592	102
ト マ ト	309	109	306	92	94	100
さつまいも	3,306	105	213	94	706	99
い ち ご	223	101	1,378	104	308	105

【訂正とお詫び】2月号P.5に掲載の「販売経過および情勢」のサブタイトルを「12月の販売経過」としておりましたが、正しくは「1月の販売経過」でした。訂正してお詫び申し上げます。 ※内容および数値自体は1月のものを掲載

③ 月主要品目

作付動向・作柄状況

見通し基準（前年対比）	
多・高	+10%以上
やや多・やや高	+5%～10%
並	±5%以内
やや少・やや安	-5%～10%
少・安	-10%以上

入荷量・価格は東京都中央卸売市場の集計です

品名	入荷量 (t)		単価(円/kg)		主産地	作柄および概況
	当年見通し	前年実績	当年見通し	前年実績		
キャベツ	並	17,385	並	85	愛知 神奈川 千葉	各産地の生育は概ね順調。中旬以降は神奈川の春キャベツの出荷が増加するが、需要増から大きな値崩れはない見込み。数量・価格は前年並みの見込み。
だいこん	並	8,895	やや高	90	千葉 神奈川	気温上昇により全体的に前進出荷。神奈川は平年より早めに切り上がる見込み。全体的な出荷量が少なく、価格は平年をやや上回る見込み。
にんじん	並	6,188	やや安	156	千葉 徳島	千葉の残量は少ないが、徳島の生育は順調で下旬から出荷開始となり、前年並みの出荷量が見込まれる。販売は厳しい価格展開となる見込み。
トマト	やや多	5,246	やや安	430	熊本 栃木 愛知	気温上昇から各産地ともに出荷量は回復し、作柄も良好であるため、小玉傾向の前年を上回る出荷が見込まれる。春商材として需要が高まるが、厳しい販売が見込まれる。
きゅうり	やや多	5,689	やや安	348	群馬 馬崎 千葉 埼玉	2月の低温・天候不順により前半の出荷は少なく、後半は北関東産の春作を中心に増量する。サラダ需要等で引き合いは強まるが、価格は高値となった前年をやや下回る見込み。
ねぎ	並	4,103	並	230	千葉 茨城 埼玉	各産地ともに暖冬の影響で生育・作柄ともに順調で、前年並みの出荷が見込まれる。販売は気温上昇による需要の減少・品質劣化等から販売苦戦が見込まれる。
ほうれん草	やや多	1,489	やや安	502	茨城 群馬 馬崎	各産地ともに生育は良好で順調な出荷が見込まれる。下旬には若干の荷動きはあるが、全体的には潤沢な出荷量が予想され、価格は前年をやや下回る見込み。
パセリ	多	37	安	1,182	千葉 静岡 葉岡	各産地ともに生育は順調で潤沢な出荷が見込まれる。出荷量が多く、厳しい販売環境が見込まれることから、寒波の影響で数量減・価格高となった前年を下回る価格となる見込み。
春菊	やや少	157	並	549	千葉 群馬 茨城 馬崎	各産地ともに前進出荷の反動による端境で、出荷量は前年をやや下回る見込み。気温上昇に伴い荷動きが鈍る見込みから、価格は概ね前年並みを見込む。
レタス	多	5,567	やや安	179	茨城 静岡 長崎	気温上昇により各産地で前進出荷となる。静岡は漸減も茨城は増量し、全体的には潤沢な出荷が見込まれる。価格は天候不良で少なかった前年を下回り、平年並の見込み。
なバナ	やや少	220	やや高	1,065	千葉 香川 葉川	気温上昇により前進出荷となり、出荷量は前年をやや下回る見込み。桃の節句後も業務・量販店の引合いが強く、価格は前年・平年を上回る見込み。
さつまいも	やや多	3,000	やや安	269	千葉 茨城 葉城	平年は他作業等から出荷量は漸減となるが、本年は貯蔵量が多く、前年をやや上回る出荷が見込まれる。また、下位等級が多く、価格は平年・前年をやや下回る見込み。
いちご	やや多	5,687	やや安	1,368	栃木 福岡	気温上昇により各産地で潤沢な出荷が見込まれる。桃の節句以降はイベントも少なく、品質劣化も懸念されるため、価格は前年をやや下回る見込み。

花 販売情勢

◆2月の販売経過【切花】

本年は暖冬傾向で推移したため、厳寒で品薄状況が続いた前年と異なり、数量がまとまった品目も多く、前年を上回る出荷量となりました。

販売については、上旬は出荷量が多く、需要も落ち着いていたことから荷動きは鈍かったものの、中旬は気温低下と降雪により出荷量が減少したことに加え、首都圏を中心にフラワーバレンタインに向けて需要が高まり、バラ・チューリップ等の洋花は安定した荷動きとなりました。下旬以降は、急な気温上昇により出荷増加となる品目が多く、また、月末の3連休が悪天候であったことも重なり、量販・小売店ともに客足が遠く、厳しい販売となりました。このような厳しい状況下ではあったものの、ミモザについては年々需要が高まっており、暖冬の影響からも出回り量が多く安定した販売となりました。しかし、前進出荷の影響から、3月8日のミモザの日に向けては商材確保に不安が残る状況となりました。



◆今後の見通し（4月）【切花】

本年は暖冬の影響により、各産地で切り花・枝物含めて前進傾向となっていることから、年度末から年度始めにかけて、出荷量が不安定となる品目が多くなる見込みです。

販売については、上旬は入学式や歓送迎会等の需要があるなか、商材確保に不安を抱えている業者も多いため、平年以上に需要が高まる見込みです。一方で、度重なる物価上昇の影響から、家庭消費については節約傾向となっているため、量販・小売店での動きは鈍く、中旬以降はやや厳しい販売となる見込みです。

◆今後の見通し（4月）【品目別】

品 名	作 柄 お よ び 概 況
カーネーション	千葉・愛知・静岡を中心とした出荷。 国産品は生育前進傾向から端境期となるが、輸入品においては平年並みの出荷となる見込み。 中旬以降、母の日向けに向けて、赤、ピンク系を中心に徐々に動きが出てくる見込み。
トルコキキョウ	沖縄・熊本・静岡を中心とした出荷。 各産地で潤沢な出荷となる見込み。輸入品においては、3月で概ね終了となるため、4月入荷は微量となる。 年度末から年度始めにかけて、暖色系を中心に安定した販売となる見込み。
カ ラ ー	千葉・愛知を中心とした出荷。 中旬までは安定した出荷となるが、下旬以降は減少し、後続産地との端境期となるため、出荷減となる見込み。 ブライダル等の業務を中心とした動きとなる見込み。
金 魚 草	千葉・埼玉を中心とした出荷。 暖冬の影響から品質の低下が平年よりも顕著になる可能性が高く、出荷量も徐々に減少する見込み。 年度末から年度始めにかけて需要は高まるも、品質によっては厳しい販売となる見込み。
ガ ー ベ ラ	千葉・静岡を中心とした出荷。 各産地、出荷量が潤沢な時期となるため、安定した出荷となる見込み。 ガーベラ記念日に向けて需要が高まることに加え、月を通して安定した数量が確保できるため、量販・小売店中心に安定した荷動きとなる見込み。



米 穀 情 勢

1. 米穀販売事業者の動向について

農林水産省が公表した「米穀販売事業者における販売数量および販売価格の動向」によると、令和6年1月単月の米穀販売事業者の販売数量は前年比104.5%と前年を上回りました。新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年との比較では、小売事業者向けは110.2%と大きく上回っており、中食・外食事業者向けも95.6%と徐々に回復してきています。

また、5年産における水田活用米穀の作付維持により、民間在庫量が減少していることから、価格は堅調に推移しており、実需者への価格転嫁も進みつつあります。

米穀販売事業者における販売数量および販売価格の動向（速報）

ア. 販売数量の動向

前年同月比（単位：％）

	R5年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年 1月
小売事業者向け販売	101.3	98.3	100.8	106.7	99.5	101.6	103.6	102.5	104.7	105.0	103.8	105.5
（令和元年との比較）	103.2	101.8	101.1	107.7	101.3	99.2	107.1	100.3	101.8	103.8	107.5	110.2
中食・外食事業者向け販売	107.1	102.8	101.7	106.4	104.4	107.2	105.9	105.2	105.2	105.3	101.8	103.2
（令和元年との比較）	94.4	94.3	95.0	99.1	99.4	97.3	97.4	101.8	100.4	99.5	98.1	95.6
販売計	103.8	100.2	101.2	106.5	101.6	104.1	104.7	103.7	104.9	105.1	102.9	104.5
（令和元年との比較）	99.1	98.3	98.4	103.8	100.5	98.3	102.4	101.0	101.2	101.8	103.0	103.0

* 令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、各月ごとの消費動向に大きな変動が生じていることから、参考として令和元年（4月までは平成31年）の同月との比較をした値を掲載。

イ. 販売価格の動向

前年同月比（単位：％）

	R5年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年 1月
小売事業者向け販売	101.9	103.7	104.6	105.5	105.2	106.6	106.1	106.3	106.0	106.6	107.6	108.5
中食・外食事業者向け販売	97.2	99.1	101.6	102.9	103.8	103.8	104.4	104.7	104.9	105.6	107.0	108.6

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 調査対象業者は、年間玄米仕入数量50,000ト以上の販売事業者（年間取扱数量約150万ト）（令和5年産生産量661万トの約2割）である。

2 上記の数値については、調査対象者が販売している精米の全体の数量・価格の動向を指数化したものであり、個別の取引や産地銘柄毎の動向を表すものではない。

3 速報値であるため、公表後の数値修正が生じる場合がある。

2. 令和6年産の作付意向について

農林水産省が公表した「令和6年産米等の作付意向（第1回中間的取組状況・令和6年1月末時点）」によると、5年産実績との比較による各都道府県の主食用米の作付意向は増加傾向5県、減少傾向11県、前年並み30県となっています。戦略作物については、加工用米、新市場開拓用米（輸出用米等）、米粉用米、WCS用稲および麦においては増加傾向または前年並みとしている県が多い一方で、飼料用米や大豆については減少傾向とする県が多くなっています。

5年産米は水田活用の作付維持により米の需給環境が改善し、主食用米の価格水準も回復傾向にあります。そのため、6年産米において主食用米への回帰が懸念されますが、需要を上回る主食用米の作付は再び需給緩和を招くこととなります。6年産においても、需要に応じた適正生産の取り組みを継続することが必要です。

令和6年産米等の作付意向（前年産実績との比較、令和6年1月末時点）

下段〔 〕は前年同時期の作付意向

	主食用米	戦略作物							備蓄米
		加工用米	新市場 開拓用米 (輸出用米等)	米粉用米	飼料用米	WCS用稲 (稲発酵粗 飼料用稲)	麦	大豆	
前年より 増加傾向	5県 〔0県〕	17県 〔15県〕	19県 〔18県〕	17県 〔16県〕	3県 〔11県〕	18県 〔20県〕	17県 〔23県〕	5県 〔16県〕	2県 〔6県〕
前年並み	30県 〔35県〕	18県 〔27県〕	17県 〔18県〕	22県 〔24県〕	17県 〔25県〕	23県 〔21県〕	16県 〔14県〕	19県 〔15県〕	10県 〔22県〕
前年より 減少傾向	11県 〔12県〕	8県 〔2県〕	1県 〔3県〕	5県 〔5県〕	25県 〔10県〕	4県 〔4県〕	11県 〔8県〕	20県 〔14県〕	18県 〔5県〕

- 注1：令和6年産の意向（増加傾向、前年並み、減少傾向）は、5年産実績との比較。
 注2：比較している主食用米の5年産実績は、令和5年12月統計部公表の主食用作付面積。
 注3：加工用米、新市場開拓用米、米粉用米、飼料用米およびWCS用稲の5年産実績は、取組計画認定面積。
 注4：麦・大豆の5年産実績は、地方農政局等が令和5年9月30日時点で都道府県再生協議会等に聞き取った面積（基幹作）。
 注5：備蓄米の5年産実績は、地域農業再生協議会が把握した面積。
 注6：石川県については、令和6年能登半島地震の影響のため、令和6年産の意向は含まれていない。

水稻作付上位10道県の令和6年産米等作付意向

道県	主食用米	戦略作物							備蓄米
		加工用米	輸出用米等	米粉用米	飼料用米	WCS用稲	麦	大豆	
北海道	↗	→	↗	↘	↘	↗	↘	↘	↘
岩手	→	↗	→	↘	↘	↘	↗	→	↘
宮城	→	↗	↗	↗	↘	↗	↘	→	↘
秋田	→	→	↗	↗	↘	↗	↘	→	↘
山形	→	↘	↗	→	→	↗	↗	↘	↘
福島	→	↗	↗	↗	↘	↗	↗	↗	↗
茨城	→	↗	↗	↗	↘	↗	→	→	↘
栃木	↘	→	↗	→	↗	↗	↗	↗	→
千葉	→	↗	→	→	↘	↘	↘	↘	→
新潟	→	→	↗	→	→	↗	↗	→	↘

- 注1：令和6年産の意向（増加傾向↗、前年並み傾向→、減少傾向↘）は、5年産実績との比較。
 注2：比較している主食用米の5年産実績は、令和5年12月統計部公表の主食用作付面積。
 注3：加工用米、新市場開拓用米（輸出用米等）、米粉用米、飼料用米、WCS用稲の5年産実績は、取組計画認定面積。
 注4：麦・大豆の5年産実績は、地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積（基幹作）。
 注5：備蓄米の5年産実績は、地域農業再生協議会が把握した面積。

3. 主食用米等の需給見通しについて

令和6年3月5日に開催された食糧部会において確認された令和5/6年主食用米等の需給見通しでは、供給量を661万トン（▲1万トン）に変更、需要量は681万トン（▲1万トン）に変更されました。令和6/7年主食用米等需要量については、供給量669万トン、需要量は670万トン（▲1万トン）に変更されましたが、四捨五入の関係から7年6月末民間在庫は変わりなく176万トンの見通しとされています。令和6年産において、需要に応じた作付けが維持されれば、引き続き需要環境は安定することとなります。

令和5/6年および6/7年の主食用米等の需給見通し（農水省・令和6年3月）

（単位：万トン）

令和5/6年	令和5年6月末民間在庫量	A	197▶194 <>3> 〔令和2年産米のコロナ影響緩和特別対策（特別枠）を除いた場合の見通し〕
	令和5年産主食用米等生産量	B	661	
	令和5/6年主食用米等供給量計	C = A + B	858	
	令和5/6年主食用米等需要量	D	681	
	令和6年6月末民間在庫量	E = C - D	177	

令和6/7年	令和6年6月末民間在庫量	E	177
	令和6年産主食用米等生産量	F	669
	令和6/7年主食用米等供給量計	G = E + F	846
	令和6/7年主食用米等需要量	H	670
	令和7年6月末民間在庫量	I = G - H	176

注1：欄外の記載は、コロナ影響緩和特別対策（特別枠）に取り組む令和2年産米を除いた場合の見通しであり、<>書きは特別枠に係る取組数量。

注2：上記の見通しは、国内で生産された主食用米等の需給見通しであり、第4の2のSBS方式による輸入米は含まれない。

注3：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

4. 令和6年産政府備蓄米の買入入札について

6年産政府備蓄米の第3回入札が3月5日に実施されました。

提示数量75,336トンに対し33,036トンの応札があり、32,948トンが落札されました。このうち県別優先枠では提示数量58,180トンに対して、30,150トンの応札があり29,251トンが落札されました。また一般枠は提示数量17,156トンに対して2,916トンの応札があり、3,697トンが落札されました。

この結果、優先枠および一般枠を合わせた年間買入予定数量205,509トンに対し、第3回までの累計落札数は163,121トンとなりました。これまでの落札率は79%に留まっています。

買入予定残数42,388トンについて、第4回入札が3月26日に予定されており、その後も買入予定数量に達するまで定期的に入札が実施される予定です。第3回を終えた段階での県別優先枠落札残数28,929トンのうち、令和6年能登半島地震の影響が考慮された富山・石川・福井の3県の優先枠残数14,574トンについては第4回入札でも県別優先枠が設定されますが、その他の県別優先枠残数14,355トンについては一般枠に振り替え提示されます。

また千葉県は県別優先枠662トンに対しては、第2回入札までで既に642トンが落札済となっていました。第3回で優先枠落札残数20トンへの応札はなく、第4回以降は一般枠に振り替えられます。

令和6年産政府備蓄米入札結果（第3回まで）

（単位：トン）

買入対象米穀の産地	予買数量入 ①	第1回～2回		第3回		落札数量計 ⑥ = ② + ⑤	落札率 ⑦ = ⑥ / ①	残数量 ⑧ = ① - ⑥
		② 落札数量	③ 提示数量	④ 応札数量	⑤ 落札数量			
千葉	662	642	20	0	0	642	97%	20
県別優先枠計	180,000	121,820	58,180	30,150	29,251	151,071	84%	28,929
一般枠計	25,509	8,353	17,156	2,916	3,697	12,050	47%	13,459
合計	205,509	130,173	75,336	33,066	32,948	163,121	79%	42,388

肥料情報

混合堆肥複合肥料

肥料の原料の大半を輸入している日本では、堆肥などの国内資源を有効活用することで、国際情勢に影響されにくい**肥料の安定供給に貢献**します。

「混合堆肥複合肥料」は、2012年9月の公定規格の一部改正により設定され、改正前にはできなかった、化成肥料と堆肥（豚ふん堆肥、鶏ふん堆肥）の混合が可能となりました。また2020年12月の改正により、さらに牛ふん堆肥も加わりました。



堆肥（特殊肥料）

- ・施用しにくい
- ・成分にばらつきがある
- ・窒素の肥効が低い
- ・衛生・雑草リスクあり

肥料（普通肥料）

- ・有機物供給は少ない
- ・土壌pHが低下しやすい



混合堆肥複合肥料

- ・施用しやすい（ハンドリングが良い）
- ・有機物を供給する
- ・供給態窒素が増加する
- ・硝化が遅い
- ・リン酸肥効が高い
- ・土壌pHが安定する
- ・精密に施肥設計できる
- ・有機化成に比べ成分あたりの価格が安い
- ・衛生・雑草リスクは無い

様々な機能性を持つ肥料

大土づくり効果小
畜種による堆肥の効果
小肥料効果大

（出典：農研機構 混合堆肥複合肥料の製造とその利用より）

混合堆肥複合肥料のご紹介



JAグループ千葉オリジナル肥料
ちばの恵み ぎゅ〜っと885 (N-P-K: 8-8-5)

- 《特徴》
- ・千葉県産の牛ふん堆肥を約40%配合し、より土づくり効果の高い牛ふんを活用
 - ・散布しやすい粒状（アグレット状）
 - ・「みどりの食料システム戦略^{*}」への対応（詳しくは2月号P.13をご覧ください）
- ^{*}「みどりの食料システム」とは、環境負荷軽減を目指す農林水産省の政策方針です。その中で、2050年までに目指す姿の1つとして「化学肥料使用量の30%削減」を掲げています。



エコレット808
N-P-K: 8-10-8
豚ふん堆肥約50%

エコレットシリーズ

豚ふん堆肥を活用した肥料



エコレット208
N-P-K: 12-10-8
豚ふん堆肥約40%
微量要素入り



エコマスター855
N-P-K: 8-5-5
豚ふん堆肥約30%
亜リン酸配合

エコマスターシリーズ

豚ふん堆肥を活用した亜リン酸入り肥料



エコマスターDd807
N-P-K: 8-10-7
豚ふん堆肥約30%
亜リン酸と硝酸化成抑制剤のジシアンを配合

詳しい使い方については最寄りのJAにお問い合わせください

肥料情報

TOPICS

3JA（安房・木更津市・きみつ）による 千葉県フェアを県内の大型量販店で開催

2月17日(土)、イオンスタイル新浦安店（浦安市）において、長印船橋青果(株)の協力のもと千葉県フェアを開催しました。

春の訪れにふさわしい青果物のPR・販売を目的として、県南内房地区の3JA（JA安房・JA木更津市・JAきみつ）の主力品目であるレタス、なばな、だいこん、ターサイのほか、県産の主力品目であるキャベツ、さつまいも、いちごを販売しました。



当日はJAの職員も応援に駆けつけ、お客さまへレシピの紹介や産地の魅力を発信しました。お客さまからは「ターサイはどんな野菜で、どのように料理するのか?」「なばなはいつごろまであるのか?」等の質問をいただき、「異常気象が続いていて、生産者の方々も大変ですよ」という声も聞かれました。中でもターサイは野菜の特徴とレシピの説明を受けて購入する方が多く、売れ行きも良好でした。



また、試食販売も実施し、レタス、なばな、トマトの3種スープは「あっさりしていて食べやすい」との声をいただきました。

今後も、対面販売を積極的に行い、産地を交えたフェアをとおして県内農産物をPRしてまいります。

TOPICS

2月8日は「べにはるかの日」！ 各種フェアを開催

JA全農ちばは2月8日の「べにはるかの日」に合わせ、各店舗でフェアを開催しました。

- 2月3日（土）～11日（日）べにはるかの試食販売（都内、東海地区、神奈川県内67店舗）

店頭でポテトサラダや焼き芋の試食を行い、千葉県産べにはるかをPRしました。試食をされたお客様からは「しっとりなめらかで、甘くて美味しい」と好評でした。



- 2月2日（金）～8日（木）「みのりカフェ銀座三越店」、「みのりみのるキッチン二子玉川東急フードショー店」で季節限定メニューを提供

みのりカフェでは「べにはるかドーナッツ」、みのりみのるキッチンでは「大学芋」、「国産鶏とべにはるかのつまみ揚げ」をそれぞれ提供し、多くのお客様にご購入いただきました。

TOPICS

南総スプリングフェア開催！

JA全農ちばは、JAいすみ、JA長生、JA市原市と合同で「第4回南総スプリングフェア」を2月9日(金)と10日(土)の2日間、南総広域物流センター（長生郡長南町）において開催しました。

展示会では、農業機械メーカー各社が一堂に会し、最新の農業機械の展示や実演を行いました。また、今年1月に取り組みを開始した第3弾共同購入コンバインについても、最新情報を紹介しました。

さらに中古農機・肥料農薬コーナーの設置や、千葉県農業者総合支援センターによるVRを活用した農作業事故体験コーナーによる啓発活動を行いました。

当日は厳しい寒さにも関わらず、769名と多くの組合員の皆さまにご来場いただきました。

JA全農ちばは、引き続き千葉県農協農機事業連絡協議会や各メーカーと連携し、農業機械事業を通じて省力化や生産性の向上・サービス体制の強化に努めてまいります。



TOPICS

「サツマイモ専門指導員フォロー研修会」を開催

JA全農ちばは、千葉県農協A.T.A協議会と共催し、千葉県とJAかたりの協力のもと2月22日(木)にサツマイモ専門指導員のフォロー研修会を開催しました。

サツマイモ専門指導員は、年間の研修を通じて施肥設計や植えつけ、収穫、貯蔵、販売情勢など専門的な知識を取得し、12月に認証を受けました。

今回のフォロー研修会では、千葉県農林総合研究センターの畑地利用研究室にて種芋育苗とポット苗育苗に関する座学と実際の育苗作業を体験し、知識と技術を身に付けました。

また、JAかとり管内生産者のポット苗の育苗床を視察し、現場での管理方法や育苗のポイント、注意点について説明していただきました。

今後も、千葉県農協A.T.A協議会およびJA全農ちばは、JA営農担当者の人材育成のため、各種研修会の開催に向けた取り組みを続けてまいります。



サツマイモポット苗の植え替え作業をする研修生

TOPICS

甲子園出場の中央学院高校に 県産農畜産物でエール

2月26日(月)、JA全農ちばとJAちば東葛は、県内生産者とJAを代表して第96回選抜高等学校野球大会に出場を決めた中央学院高校へ新鮮な県産農畜産物を贈呈し、甲子園での健闘を祈念しました。

贈呈式にあたり、JA全農ちばの林茂壽運営委員会会長は「甲子園では、全国屈指の激戦区『千葉』の代表として、日頃の鍛錬の成果を存分に発揮し、紫紺の大優勝旗を我が千葉県に持ち帰ってほしい」と激励しました。また、JAちば東葛の高橋一雄組合長は「選手たちにとって、甲子園出場はこれからの人生の糧になるはず。ぜひ頑張ってください」と期待を込めました。

中央学院高校の横田一弘校長は「いただいた県産農畜産物を食べ、元気いっぱいになる選手を千葉県民の皆さまに見せたい」と抱負を語りました。



贈呈した農畜産物と参加者の皆さま
(左から高橋組合長、林会長、横田校長)

ハラペコさんに贈るいちばんレシピ

白菜とひき肉のあんかけ



材料 (3人分)

- 白菜……………1/4株
- 豚ひき肉……………150g
- しょうが(みじん) ……1かけ
- 酒……………大さじ1
- ごま油……………小さじ1
- サラダ油……………小さじ1

④

- ★エコープオイスターソース ……小さじ2
- 砂糖……………小さじ2
- 醤油……………小さじ1
- 鶏ガラスープの素……小さじ2
- 片栗粉……………大さじ1

作り方

- 白菜は1.5cm角になるように切る。
- ボウルに④を混ぜ合わせる。
- フライパンにサラダ油を引き中火で熱し、しょうが、豚ひき肉を炒める。
- 肉の色が変わってきたら白菜の芯を加えて3分ほど炒める。
- しんなりとしてきたら、葉を加えてさっと混ぜ合わせる。酒を加えてフタをし、2分ほど蒸し焼きにする。
- ②を加えてとろみがつくまで煮込んだら、ごま油を加えて完成！

★エコープオイスターソースについて

国産かきを丸ごとすりつぶしているので、牡蠣のうまみが料理の味を引き立て、一本常備しておくとうまみ調味料として重宝します。炒め物や煮物、隠し味等、幅広くご活用ください！

最寄りのJAにお問い合わせいただくか、“JAくらしの宅配便”のホームページでご注文いただけます。



その他のJA全農ちばオリジナルレシピはこちらからご覧いただけます。

🌸 JA全農ちば ハラペコさんに贈るいちばんレシピ 🌸

<https://www.zennoh.or.jp/cb/product/recipe/>

レシピページ



今年度も愛顧
いただきありがとうございます!
ございました!



JA全農インターネット通販 千葉県産農畜産物のご贈答・お取り寄せなら

JAタウン JA全農ちば 愛情いちばん館

ほんの一例です/ 主な取扱商品

JAタウン“JA全農ちば 愛情いちばん館”では、産地自慢の「ちばの味」を全国へ産地直送でお届けしています。贈り物やご自宅用に是非ご利用ください。

JAかとり『多古のべにはるか』 ねっとり食感!

収穫後1ヶ月以上貯蔵した、甘くておいしい、さつまいも「べにはるか」です。ねっとり、なめらかな食感と濃厚な甘みをお楽しみください。焼き芋にすれば、ねっとり感と濃厚な甘さを楽しめます! オープンでじ〜っくり時間をかけて焼いてください。シンプルに、スイートポテトや蒸かし芋などもおすすめです!



“完熟”松戸の苺 やよいひめ

果実をヘタの近くまで赤く育て、“完熟”したものだけを収穫し、大切にお届けします!酸味が少なくすっきりとした甘さの苺です。



ミディー胡蝶蘭各種

世界のトップクラスの蘭展で各賞を受賞している生産者の優美なミディーコチョウランです!贈り物にぴったりのお花です。

びわシロップ煮(小) 3本入

南房総市富浦産のびわを使用したシロップ煮をお届けします!食後のデザートにとぜひお楽しみください!



【濱田農場】 飲むいちじく酢 2本セット

無花果(いちじく)果汁50%のトロリとした食感をお楽しみいただける「飲むお酢」です。



JAタウン「JA全農ちば 愛情いちばん館」ショップ

野菜・果物・お肉・農産物加工品・海の幸・お花等様々な商品を取り揃えております。

※御電話での注文は承っておりません、ご了承ください。

<https://www.ja-town.com/shop/c/c3401/>



愛情いちばん館HP

お問い合わせ

全国農業協同組合連合会
千葉県本部 園芸部
園芸直販課
TEL 043-245-2911

お知らせ

JA全農ちばは、「アグリ情報“ちば”」が生産者の皆さまとの情報交換の場となるよう努めて参ります。身近な話題、ご意見、ご要望などございましたら、下記連絡先までお寄せください。

アグリ情報“ちば”に係る 個人情報の取り扱いについて



組合員の皆さまからご提供いただきました個人情報情報は、「アグリ情報“ちば”」送付の目的にのみ使用いたします。

JA全農が提供するラジオ番組 **Tokyofm**
Life time audio 80.0

ZEN-NOH COUNTDOWN JAPAN

13:00~13:55 毎週 **生放送**
全国の農畜産物をプレゼントします。

15:50~16:00 毎週 **生放送**
生産者の声や開発の道のりなど商品の魅力を紹介します。

農業部

23:00~23:06 毎週 **生放送**
農業について一緒に楽しく学びましょう。

発行/全国農業協同組合連合会千葉県本部 令和6年3月15日発行(毎月1回15日発行) 通巻第165号
編集・発行部署/管理部 総合企画課
〒260-0031 千葉市中央区新千葉3-2-6 電話043-245-7360 FAX043-247-9715

「アグリ情報ちば」の宛名・送付先の変更や送付の停止をご希望の方は、JA全農ちばホームページの
お問い合わせページにご住所・お名前を明記のうえご連絡ください。
新規お申込みをご希望の場合は、お電話にて承ります。

送付先の変更・停止



JA全農ちば
公式HP



JA全農ちば
公式Instagram

